

「もっと南島原ツアー 第3弾 南島原ジオツアー」

10月25日(土)市内にあるジオサイトを巡る『もっと南島原ツアー 第3弾 南島原ジオツアー』を開催しました。

今回は45人が参加し、バスで市内5箇所のジオサイトを巡りました。雲仙普賢岳の被災の様子だけでなく、今私たちが立っている大地がどうやってできたのか、島原半島がどうやってできあがったのかを実際に地層を見ながらわかりやすく解説していただきました。

参加した皆さんから「南島原市には地質学的にこんなに貴重なものがたくさんあるということをもっと多くの人に知ってほしい。」との声がありました。



※4 千々石断層



※3 原城跡



※2 西有家町琴平神社下の崖



※1 九十九島

世界ジオパーク 認定を目指して!! ⑦

地球の営みの様子を観察できる場所をジオサイトといいます。

島原半島には、火山活動や断層運動などに関係するたくさんあるジオサイトがあります。今月は、このジオサイトを紹介します。

日本最大の火山災害のなごり

九十九島(※1)

1792年、島原市街地の西にそびえる眉山が大崩壊し、大津波が発生、島原半島と対岸の熊本を襲います。いわゆる「島原大変肥後迷惑」といわれるもので、死者約15,000人を出す日本火山災害史上まれに見る大災害となりました。詳細な記録も残されており、1990年に始まった平成の噴火とともに重要な火山活動のひとつです。そのとき、有明海に流れ込んだ土砂は、無数の小島をつくり、現在でも九十九島と呼ばれています。

雲仙火山の土台と古い土石流

西有家町琴平神社下の崖(※2)

西有家町龍石の琴平神社下の崖では、口之津層群の上に重なる約30万年前の雲仙火山噴火活動の古い土石流の地層を見ることが出来ます。この崖を観察すると、口之津層群の砂の層が積もった後、水の力で砂の層が削られて、その上に土石流が流れてきたことがわかります。このように下の地層が削られた(浸食された)後に上の地層がたまる関係を『不整合』といい、絶好の観察ポイントになっています。

世界遺産候補は地質遺産

原城跡(※3)

島原の乱(1637年)のときに、一揆軍が籠城したことで知られている原城跡も、重要な地質遺産のひとつです。

原城跡は、標高30m程の高台にあります。この起伏の少ないならかな地形は、約9万年前の阿蘇から海を渡って流れてきた大規模な火砕流によってできています。

風景の中にある活断層

千々石断層(※4)

国道57号線沿いの千々石展望所、愛野展望台へと登る坂道は、千々石断層でできた崖です。

千々石断層は、東西方向に伸び、断層の南側の地面が落ち込むような動きをする活断層です。鉢巻山や吾妻岳の南側の急斜面、田代原の盆地は、千々石断層の動きによってできました。千々石展望所から眺めると、海岸から山側へ伸びる活断層の崖を風景の中で確認することができます。

島原半島は日本ジオパーク第1号に認定されました



- 最優秀賞 永本成児さん(大阪府)
- 優秀賞 野田雄司さん(福岡県)
- 優秀賞 阿部かほりさん(神奈川県)

島原半島ジオパークの ロゴマークが決定

島原半島ジオパークをより多くの皆さんに知っていただくため、ロゴマークを募集したところ、全国各地から315点の応募があり、審査の結果、大阪府藤井寺市の永本成児さんの作品に決まりました。このロゴマークは、島原半島の象徴である雲仙火山をデザイン化し、3本のラインは、南島原市、島原市、雲仙市の3市、雲仙火山の裾野に広がる扇状地を表わしています。3本のラインの色は、オレンジは島原半島の生い立ちと歴史、黄緑は豊かな自然、緑は豊かな海をそれぞれ表わしています。今後はこのロゴマークを、島原半島ジオパークのPRなどに幅広く使用していきます。応募していただいた皆さん、ありがとうございました。各賞の受賞者は、次のとおりです。

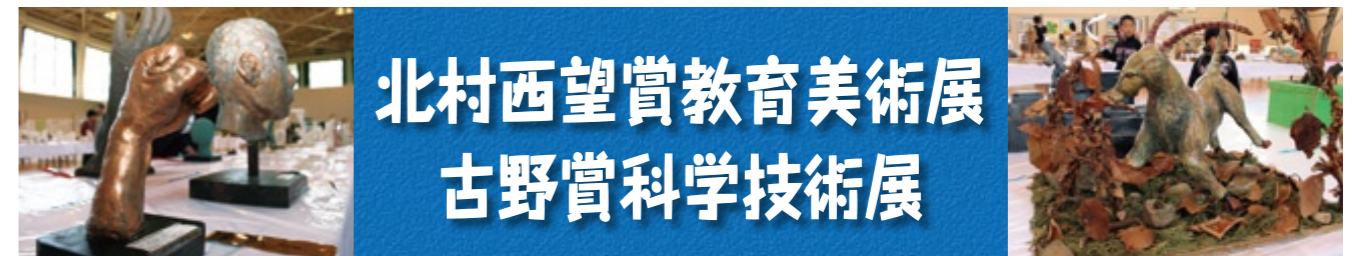


※南島原市立乳ガ浦老人ホームの民間移譲に係る選考委員会

市立乳ガ浦老人ホーム の民間移譲先が決定!

10月28日(火)に選考委員会からの報告を受け、移譲先予定法人を次のとおり決定しました。

- 移譲先予定法人 社会福祉法人 恵光会 理事長 遠山海光 所在地/大村市東大村2丁目 1616番地2
- 移譲予定日 平成21年4月1日
- 応募者数 2法人
- 審査結果 1位法人 社会福祉法人 恵光会 得点 2420点
- 2位法人 A法人 得点 2392点



北村西望賞教育美術展 古野賞科学技術展

- 展覧会**
- 日時 12月5日(金)~7日(日)
 - 時間 午前9時~午後5時 ※7日最終日のみ午後3時まで
 - 会場 南有馬体育館
 - 展示品 市内小・中学校児童生徒による美術・科学技術作品

- 表彰式**
- 日時 12月7日(日) 午前10時
 - 場所 原城文化センター
- ▼お問い合わせ
教育委員会 学校教育課 ☎050(3381)5081

北村西望と教育美術展



北村 西望(きたむら せいぼう 昭和62年3月享年104歳で逝去)
日本を代表する南島原市出身の美術家。特に代表作である大作「長崎平和祈念像」は有名。文化勲章など多数受章。南島原市の名誉市民。長崎県の名誉県民、東京都の名誉都民でもある。
同氏の功績を称え、小・中学校の美術教育の振興を目的に南有馬町で昭和55年から実施。合併後は、市の小・中学生の美術展として裾野を広げている。

古野清孝・清賢兄弟と科学技術展



写真左:清賢氏 右:清孝氏

南島原市出身、口之津町にて古野電気商会を創業。世界初の魚群探知機を開発して以来、漁業の近代化や航空用・情報機器など、活動の場を拡大し、社会の発展と産業の振興に貢献。勲三等瑞宝章など多数受章。魚群探知機の開発エピソードは、プロジェクトXなど多くのメディアで取り上げられている。南島原市の名誉市民である古野清孝・清賢兄弟の功績を称え、小・中学生の科学技術教育の振興を目的に平成16年から南有馬町で実施。

ふるさと応援寄附 ありがとうございます 現在累計(10月末日現在)
● 申し込み・お問い合わせ 企画振興部 企画振興課 ☎050(3381)5030 **318万1,000円**
わたしたちも応援しています。 古野 清賢さん



おみせのレジ袋を全部なくしたい。

大野木場小学校 名前 横田 万由子